

大阪維新の会 堺市議会議員

黒田まさき Vol.9 市政レポート



～堺から大阪再生への挑戦～



これを読んでくれるあなたがいるから、我々は挑戦をやめない。

選挙前に良いことばかり言って借金を増やし続ける今の政治。お金が足りなくなれば借金をする。そんな楽な政治はない。政治家は国民の将来の幸せのために今は批判を恐れずに行動しなければいけない。

堺市議会議員選挙 トップ当選の感謝を込めて

堺市議会議員は堺市民の幸福追求と福祉の維持・向上、次世代に誇れる堺を引き継ぐことが使命

私が改革を訴え続けているのは、日本国に1700以上あるすべての市町村が赤字体質で、堺市も例外ではないからです。さらに、この日本国は世界でも類を見ない少子高齢化で社会保障費は増え、労働人口の減少で税収が下がり続けていきます。堺市も国からの交付金に依存しており、それが減ってくると市民の生活に与える影響は計り知れません。ですから我々大阪維新の会は困難な時代に対応できる新たな制度を創設し、国の負担と依存度を減らす必要があると考え、「自立する個人」「自立する地域」「自立する国家」というものを掲げており、その改革の手段として大阪都構想を掲げておりました。

住民投票の結果、大阪都構想は事実上とん挫しましたが、市民の生活を守るためにはこのままでいいという選択肢はありません。先人の方々や地域の諸先輩方が必死に築いて下さった歴史・文化のまち「誇れる堺」。その輝きが徐々に薄れつつある中、我々の世代で立て直し「誇れる堺」を次の世代に引継いでいくことが今を生きる大人としての義務ではないでしょうか。日本全国がじり貧になっている今、一刻も早く新たな制度を築き、改革を成し遂げないと堺にも未来はありません。私は10178票の感謝を仕事でお返しするべく、さらに高く改革の旗を掲げ、怯まずになびかせ続けることをお約束致します。

改選後初の本会議 大阪維新の会を代表して堺市政に言及

各分野で活躍する人の生きがいに繋げ、税金の依存度を下げていく

キーワードは **民間主導** **行政参加**

障害を乗り越え国と地域に貢献 生きがいを見つけ賃金UP

『民』主導の成功例



レアメタル再生で自立 堺の「つつじ」など3施設

堺市東区日置荘田中町の「つつじ」施設で、レアメタル再生に取り組む人々の姿。この施設は、障害者や高齢者の就業支援を目的として設置された。再生されたレアメタルは、地元企業に供給され、地域経済の活性化に貢献している。

PC回収・取り出し 24日初出荷

堺市東区日置荘田中町の「つつじ」施設で、回収されたPCの取り出し作業が行われた。回収されたPCは、適切に処分され、環境保護に貢献している。

堺市の障害者就労支援B型事業所の平均月給は、**月額1万円以下**。保護者は自分がいなくなった時の不安を常に抱えている。第4次障害者長期計画の考え方において、「障害者が住み慣れた地域で主体的に、共生、協働のもと生き生きと輝いて暮らせる社会の実現」とあるがそれを実現するため、現場ではアイデアを出し努力している。行政は民間のアイデアを実現するために新たな制度設計をするべき。

多額の税金を投入した事業が あたかも成功してる様な演出

『役所』主導の失敗例

入館者数 年間目標の半分 1カ月半で達成…



文化観光拠点「さかい利晶の杜」

堺市東区日置荘田中町の「さかい利晶の杜」は、文化観光拠点として整備された。しかし、入館者数が年間目標の半分しか達成できず、1カ月半で達成したと報告されている。

出入り自由3カ所でも ダブルカウントも

「さかい利晶の杜」の入館者数を正確に把握するため、出入り自由の3カ所をダブルカウントしていることが明らかになった。

27年6月11日産経新聞

税金や補助金がないと維持できないまちづくりなどナンセンス。行政主導の問題点は税金投入の言い訳のために外的な目標設定と達成のために本質を見失う。結果、現場と民間は疲弊する。行政は税金で大きな計画を実行するが、**損失の責任をとるのは市民です**。民間はリスクを伴うため、小さく生んで大きく育てる。この違いは大きい。この事例は堺市政全般に当てはまると言っても過言ではない。

26年12月22日読売新聞

自立で保護者の不安解消する仕組みを

民間のマーケティングに影響するので正確に

中心市街地・百舌鳥駅開発エリアの活性化

観光客が関西空港から大阪市内・奈良・京都に行く前に
堺に立ち寄る戦略を



計画では阪堺線(ちんちん電車)は背骨になる
多額の税金で支援するのではなく、大阪市内からの観光客が阪堺線を利用する戦略を

世界遺産登録となれば百舌鳥駅周辺に人は集まる。**来訪者を中心市街地**に呼び込むための戦略を

東区的位置付けと現状がかい離

東区は堺市の中でベットタウンとして位置付けられており、まちづくりビジョンでは「暮らしという事に重点を置く」とあるが、すべての世代の暮らしに必要な道路・公園の整備率は堺市7区の中で**東区が一番低い**。

市民1人あたりの公園面積

(単位:m)

堺区	中区	東区	西区	南区	北区	美原区	計
5.90	2.44	2.10	4.98	22.51	8.89	5.42	8.33

都市計画道路の進捗状況

(単位:%)

堺区	中区	東区	西区	南区	北区	美原区	計
76.5	76.6	30.3	71.6	86.9	63.1	64.6	71.4

東区まちづくりビジョンでは「安全・安心なまちづくり」「誰もが元気で健康なまちづくり」「子育てを支援する優しいまちづくり」とある。ソフト事業は地域住民のご尽力で充実しているが、本庁決済が必要なハード事業は置き去りになっている。東区の課題解決と基本方針達成のために早急に登美丘南公園と天神公園、都市計画道路の整備を進めていただきたい。

『民』と『役所』の役割を見直し、時間軸を明確に

改革で捻出したお金で東区的生活環境の改善を

大阪都の自民対案「大阪会議」可決!しかし...

我々は何十年も解決出来なかった大阪の課題解決の手段として**指揮官と行政を一本化する大阪都構想**を提案しておりました。住民投票の結果は深く受け止めますが、衰退する大阪の輝きを取り戻すため、大阪都構想以上の案はないと考えております。議会において「大阪会議」の問題点をいくつか指摘を致しましたが、**自民党は大阪都にしくなくても話し合いで解決できると主張**。それならば一日も早く開催し、様々な案件をテーブルに乗せて、課題解決と大阪の成長戦略について議論を尽くす必要があります。我々は改革を少しでも進めるために「大阪戦略調整会議」の設置に賛成しましたが、**提案してきた自民党にやる気はありません**。**5分10分で決められることを数ヶ月も先送り**しようという「のらりくらり作戦」が始まりましたが、大阪の改革は待たなし。このような市民・府民を無視したやり方を打ち破るために大阪維新の会は戦い続けます。

橋下代表の政界引退について...

常に大阪と日本の未来を憂い、常に配慮と感謝を忘れず、常に納税者や弱者の声を聴き、「納税者を舐めるな」と最前線で命を削り、自らの危険を顧みずここまで既得権に切り込んだ人はいない。もし、都構想が実現していたら代表はもっと厳しく危険な挑戦を続けていたでしょう。そういう方です。ずっと背中を追い続けてきた僕は「残念」とは言えません。「もうゆっくりして下さい」というのが本音。強力な突破力で道筋を付け、種も撒いていただきましたので、花を咲かすことが我々の務め。引退後はご家族との時間を取り戻していただきたいと思ひます。



大阪をよくしたい、
それだけの思いで
走り続けてきました

身のまわりでお困りのこと
なんでも相談下さい!!

あの道路が危ない!公園の管理など地域の事でお困りのことや各種手続きなど、「こんなこと相談しても・・・」なんて言わないで、なんでもご相談下さい。

「〇〇について教えてほしい」「思っていることを訴えたい」「黒田つとどんなやつだろう」疑問や不満もぜひお聞かせ下さい。ご自宅や集会所やカフェ・カラオケ、どこでもお伺いします。住みやすい堺市にするために皆さんの思いを議会に届けるのも議員の大切な仕事です。一緒に堺の未来を描いていきましょう!

政治家の仕事は崇高な理想を掲げ、市民と夢を描き、実現させること。
地元行事に顔をだすだけではいけない。

すべては次世代のために。
次世代に胸を張って引き継げる社会を作り上げることは**今を生きる大人としての義務**。
未来の子ども達のため、その義務を果たしてみせます。

堺市議会議員 黒田 征樹

